

経済振興委員会報告資料

アジア美術館 魅力向上の検討状況について

令和8年6月  
経済観光文化局

アジア美術館は、世界で唯一、アジアの近現代美術を系統的に収集・展示する美術館として先駆的な取り組みを行ってきた一方、その価値や魅力を十分に届け切れていないことから、令和5年度より魅力向上の検討を進めている。これまでの検討を踏まえ、拡充先を「警固公園地下」とし、魅力向上に向けた基本計画策定に関する検討を行っており、今回、市民意見募集の結果と、有識者会議等からの意見を踏まえ、とりまとめた基本計画(案)について報告するもの。また、今後、実施を予定している基本設計を対象とした公募について概要を報告するもの。

■ これまでのアジア美術館の魅力向上に向けた検討状況

- 令和6年 2月 経済振興委員会へ検討状況を報告(アジア美術館の現状と課題、課題解決の方向性)
- 令和6年 9月 経済振興委員会へ検討状況を報告(機能拡充の方向性、拡充先の条件整理)
- 令和6年 12月 経済振興委員会へ検討状況を報告(拡充先の土地の評価比較、警固公園地下駐車場の検証)  
⇒拡充先について、複数の候補地を評価比較した結果「警固公園地下」を選定
- 令和7年 6月 経済振興委員会へ検討状況を報告(魅力向上の基本的な方針案)
- 令和7年 12月 経済振興委員会へ基本計画の検討状況を報告(施設整備について)
- 令和8年 2月 経済振興委員会へ基本計画の検討状況を報告(基本計画(原案)について)
- 令和8年 4月 基本計画(原案)について市民意見募集の実施を開始(~5月)

## 1 基本計画(案)について

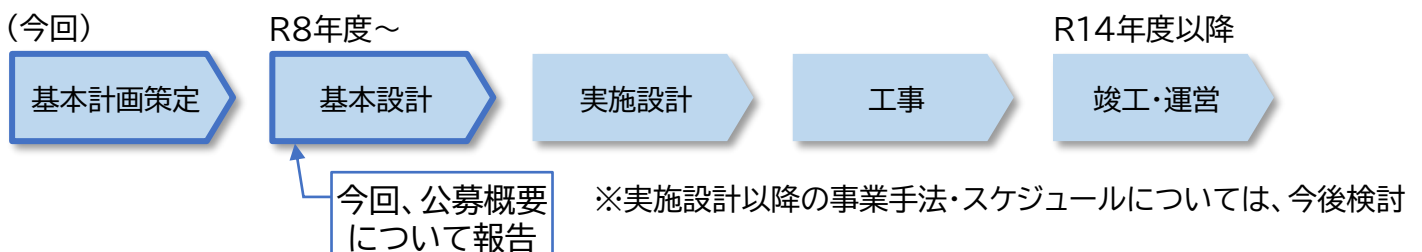
福岡アジア美術館 施設拡充等基本計画(2月議会において原案を報告。以下「基本計画」という。)については、市民等の意見を反映させるため、基本計画(原案)に対する意見を募集したところである。今回、その結果と、有識者会議等からの意見も踏まえ、**基本計画(案)**(参考資料4)としてとりまとめた。

- (1) 意見募集対象 福岡アジア美術館 施設拡充等基本計画(原案)
- (2) 意見募集期間 令和8年4月14日(火)~5月14日(木)31日間
- (3) 実施方法  
公表方法:アジア美術館(博多リバレイン7階受付)、情報プラザ(市役所1階)、情報公開室(市役所2階)、各区役所情報コーナー、入部出張所、西部出張所  
意見提出の方法:郵送、FAX、電子メール、窓口、オンライン(専用ホームページ)
- (3) 意見の提出状況 意見件数 49名、延べ150件
- (4) 意見への対応 原案修正 4件、原案どおり 40件、記載あり 54件、その他 52件  
※詳細は参考資料2、3のとおり

## 2 基本設計の手法について

※令和8年2月議会にて報告済み

これまでの施設拡充の検討や有識者意見等を踏まえて、設計手法について検討を行った結果、拡充先における施設整備の基本的な方針に沿った施設とするためには、より魅力的な建築・空間デザインが必要であると結論づけた。このことから、**基本設計を対象とした公募を実施し、多彩なデザイン提案を募る**こととした。



### 3 基本設計者選定の公募概要（案）について

#### (1) 公募概要（案）

- **対象事業** : 警固公園地下への福岡アジア美術館の施設拡充に係る基本設計業務
- **選定方式** : 公募型プロポーザル方式
- **所在地** : 福岡市中央区天神2丁目2番地 警固公園地下(旧警固公園地下駐車場)
- **設計の概要** : 警固公園地下の旧駐車場の構造躯体を活用しながら、美術館へ増改築する。
- **美術館の基本設計において求める視点**

美術館と地上の公園が一体となって、福岡の新たな顔として心地良く過ごせる文化的な空間を創出し、天神の文化的魅力を一層高め、また、多彩な体験価値を昼夜提供することで、多様な来館動機を創出し、より多くの市民や国内外の観光客が気軽に訪れ、アジア美術と出会い、気づく場となることを目指す。

そのため、整備にあたっては、基本計画(案)の「拡充先における施設整備の基本的な方針」を踏まえ、人々を惹きつけ、福岡の新たな顔としてふさわしい、高い意匠性を有する施設を整備する。また、公園との連携、一体化を図るとともに、アートとの出会いを演出する象徴的なエントランス等を整備する。

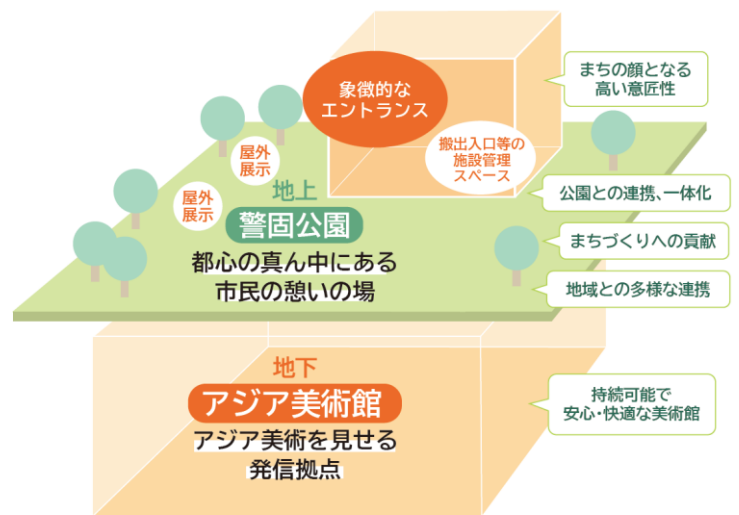
また、地下構造躯体の活用や緑化を維持した施設整備を実施することで環境保全を図り、持続可能なまちづくりに貢献する。

#### 拡充先における施設整備計画

※基本計画（案）より抜粋



拡充先(警固公園)現況図



美術館の整備イメージ図

#### 拡充先における施設整備の基本的な方針

まちをつなぎ、人をつなぐ福岡の新たな顔

- ①公園との連携、一体化
- ②まちの顔となる高い意匠性
- ③まちづくりへの貢献
- ④地域との多様な連携

持続可能で安心、快適な美術館

- ①環境への持続可能な配慮
- ②その他の視点  
<快適に楽しめるユニバーサルデザイン>  
<人と作品を守る高い防災性>

#### 公園等との連携の考え方

- ・公園と周辺に開放された動線やまとまった広場空間、見通し、みどり空間といった既存の公園機能等を確保する。
- ・既存機能(便所、駐輪場、安全安心センター)の継続を前提とした、公園の魅力や利便性の向上と、美術館の意匠性を両立する空間構成とする。

## ■ 想定規模

美術館の魅力向上を図るために必要な機能を配置し、各機能に必要な想定規模を次の通りとする。

### ゾーンの構成

※基本計画（案）より抜粋

#### ゾーンごとの目安規模と主な諸室のまとめ

ゾーン	規模 ※目安	主な諸室イメージ ※室名は仮称
展示ゾーン	約3,000㎡ うち ギャラリー2,000㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ギャラリー（映像ギャラリー含む）</li> <li>● 展示準備室</li> <li>● 一時保管庫</li> <li>● 搬出入口、トラックヤード など</li> </ul>
学び・体験ゾーン	約600㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多目的室</li> <li>● ワークショップ室</li> <li>● ボランティア室 など</li> </ul>
その他の美術活動ゾーン	調査研究 約150㎡ 美術交流（展示の一部）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料室、ライブラリー</li> <li>● 滞在者用控室 など</li> </ul>
にぎわい・集客ゾーン	約1,500㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 魅力的な導入部分となる象徴的なエントランス</li> <li>● ミュージアムショップ</li> <li>● イベント等での飲食機能提供 など</li> </ul>
管理・運営ゾーン	約1,100㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事務室 など</li> </ul>
ユニバーサル関連の諸室	約200㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医務室、授乳室 など</li> </ul>
その他	適宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設備関連諸室 など</li> </ul>

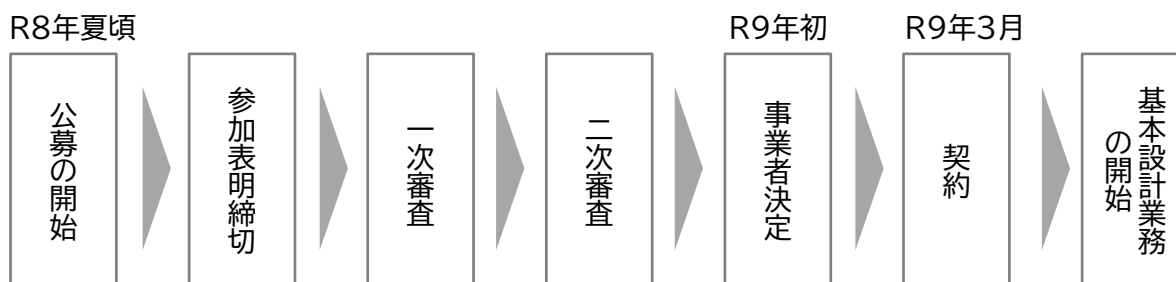
拡充先全体の床面積の目安は、7,500㎡～9,000㎡程度

## ■ 目安となる工事費（参考値） 約140億円程度

※近年の国内美術館の整備事例を参考に、都心部公園にある地下駐車場の活用といった本事業の特殊性を勘案し、令和8年3月時点での工事単価及び想定床面積等を用いた概算額（公園等の周辺整備に係る費用は除外）である。

※物価上昇等の外的要因に加え、今後の具体的な設計や施工計画の検討において変更となる可能性があり、基本設計の中で、選定した設計者ととともに工事費を積算していく。

## ■ 公募スケジュール（予定）



## (2) 公募に係る評価委員会の設置

公募要項、評価基準及び提案内容に対する評価について、専門的・学術的見地から意見を聴取するため、以下のとおり委員により構成する「アジア美術館施設拡充に係る基本設計提案評価委員会(以下「評価委員会」という。)」を設置しており、市は、本評価委員会での意見を参考に、公募要項や評価基準等の検討を進め、基本設計事業者を決定する。

### 【アジア美術館施設拡充に係る基本設計提案評価委員会 委員名簿(令和8年6月設置)】

専門分野	氏名	所属
建築	古谷 誠章	日本建築士連合会会長(R6-) (有)NASCA(ナスカ)一級建築士事務所
建築	松岡 恭子	(株)大央代表取締役社長 (株)スピングラス・アキツ代表取締役
景観・公共空間の デザイン	柴田 久	福岡大学工学部 社会デザイン工学科 教授
美術館運営	後小路 雅弘	北九州市立美術館館長(R3-)
美術館運営	堀川 理沙	ナショナル・ギャラリー・シンガポール キュレトリアル&コレクションズ ディレクター
行政(公園)	宮本 信太郎	住宅都市みどり局 みどり推進部長
行政(所管)	岩永 悦子	経済観光文化局 アジア美術館館長

(敬称略、順不同)

※公平性・透明性の確保の観点から、評価委員との接触等、公平な選定を損なう行為については、公募要項等において禁止事項として整理予定。